

関ヶ原合戦の前哨戦 米野の戦い跡

(岐阜城攻防図)

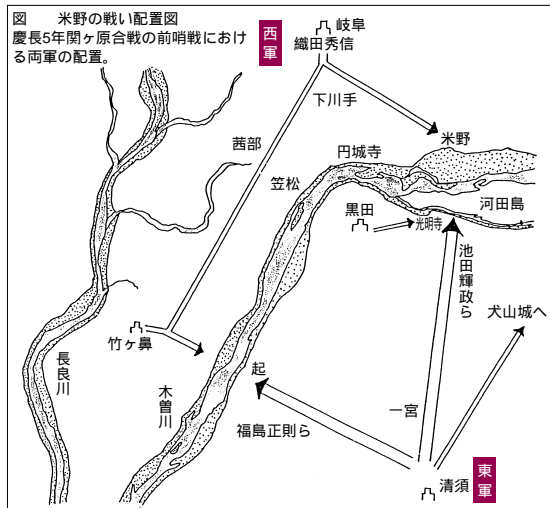


図 米野の戦い配置図
慶長5年関ヶ原合戦の前哨戦における両軍の配置。

慶長五年(一六〇〇年)九月十五日
関ヶ原で戦いが始まる前、八月二十一日・二十二日の両日、米野付近の木曾川の河原は、戦火にみまわれました。
清須城(現愛知県)を出発した東軍は、木曾川を渡って美濃へ進出するのにも、河田島(現川島町付近)を経て米野へというコースと、起(現尾西

市起町付近)を経て竹ヶ鼻(現羽島市竹鼻町)へというコースを選びました。河田島のコースには池田輝政ら一万八、〇〇〇人の兵が、起のコースには福島正則ら一万六、〇〇〇人の兵が、それぞれ二十一日に到着しました。一方西軍の織田秀信は米野付近と竹ヶ鼻城にそれぞれ軍を進

め、東軍と木曾川を挟んで図のとおり相対しました。東西両軍は二十二日明け方を待って砲火を交えましたが、討ちつ討たれつ敵味方血みどろ死闘の末、東軍は織田軍を打ち破りました。とりわけ米野の戦いでは、黒田城主一柳の家僕大塚権太夫が木曾川渡河の一番乗りを果たしたものの、織田軍の一人飯沼小勘平に殺されたといえます。また飯沼も池田輝政の弟に殺されたといえます。大塚は無動寺の畑の中に、飯沼は平島の田の中にそれぞれ葬られ、各々の武勇が今に語り伝えられています。なお東軍が河田橋付近の木曾川を容易に渡り得たのは、木曾川沿いに住み、

川の流れと深浅を知り尽くしていた土麩野々垣源兵衛久晴の案内があったためと言われます。
木曾川を渡河した東軍は、翌二十三日織田秀信の本拠岐阜城を総攻撃し落城させました。その知らせを聞いた西軍は大垣城を撤収して関ヶ原で決戦することにし、ついに九月十五日午前八時ごろ、関ヶ原の戦いが始まりしました。戦いは同日夕方、東軍の勝利で終わりました。

資料館展示の岐阜城攻防図は、二十三日の戦いのときのもの(八幡神社所蔵)です。

行政相談 人権相談

行政相談、人権相談は自宅でも応じています。

いずれの相談も秘密は固く守られますのでお気軽にご相談ください。

行政相談	行政相談委員	加藤司郎	県町105	☎ 387・2793
人権相談	人権擁護委員	栗本幸一	東宮町30	☎ 388・0553
		齋藤好子	中川町20	☎ 387・0812
		後藤 稔	北及1183	☎ 388・1495
		杉原貴子	中野256	☎ 388・1496